

安心して入学を迎えるために

つぎの
たんけんで、
このさきに
いってみたい

こうえんが
あんなにちいさく
みえるよ
このドアのむこう
にいきたいな

伝え合う

チャレンジする

このかいだん、
なんだんあるの？
かえりにかぞえて
みようかな

わくわくする

粘り強く取り組む

?を見つける

写真は、入学後、新しい環境に関わりながら、いろいろな発見をしたり、疑問を抱いたりしている子どもたちの様子です。今、お子さんが、好きなことに夢中になり、遊びに没頭したり、周囲の人と安心して関わったりしながら育てている好奇心や想像力、粘り強さなどを、小学校でも発揮しながら学んでいきます。

(右の二次元コードより「よこはま☆保育・教育宣言」参照)

幼保小の連携

乳幼児期の育ちと学びを受け止め、
小学校以降の教育につなげます

COOPERATION

小学校

- ＊乳幼児期の子ども成長の様子を受け止めます。
- ＊子どもの安心感と主体性を大切にした「スタートアッププログラム」を行います。
- ＊乳幼児期に培った力が教科等の学習でも存分に発揮できるようにしていきます。



「よこはま☆保育・教育宣言
～乳幼児の心もちを大切に～」
令和2年3月(図は一部抜粋)



保護者の皆様から、よく聞かれる質問をまとめてみました。

Q 「スタートカリキュラム」って何ですか？

A 小学校へ入学したお子さんが、園などで経験した遊びや、生活を通して育んできた力を発揮しながら、新しい学校生活を安心してスタートしていくためのカリキュラムです。

Q 具体的には、どんな1日を過ごすイメージなのですか？

A 下に、入学直後の子どもたちの一日を紹介します。学校によって、工夫の仕方は異なります。

登校 1校時

安心して学校生活を始められるように工夫された活動（なかよしタイム）



安全に気を付けて登校できるよ。あっ、校長先生も見守ってくれているよ。



ブロックをつなげたり並べたりして、すてきな模様ができたり、みんなと仲良くなれたよ。



教室や体育館で、ダンスやゲームをして、みんなで体を動かすのは、とても楽しいよ。

生活科を中心とした合科的な学習（わくわくタイム） 教科等を中心とした学習（ぐんぐんタイム）



たくさんの教室があって、いろいろな先生がいるよ。ここは、誰が何をしている場所だろう。



雨の日の学校探検。面白い音がするよ。



すごくおおきなスプーンみたい。給食を作るときに使う道具だって。どうやって使うんだろう。

1校時 4校時

あそこの材料をつないでみよう。すごい自信作ができたよ。



書いたりするのも、友達と一緒に学ぶのも、どちらも楽しいよ。



※なかよしタイム わくわくタイム ぐんぐんタイムなどの呼び方は学校によって異なります。

1年生で学習する教科等

- ・国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育・特別活動
- ・特別の教科道徳・外国語活動(YICA)

給食 清掃 5校時 下校

給食の時間



家や園でも、ご飯やおかずをよそっていたから任せておいて。

休み時間



今日は何をして遊ぼうかな。広い校庭も、遊具も大好き。

入学当初は集団で登下校する学校もあります。小学校に慣れるまで、安全に気を付けて帰ることができるように学校の職員や、保護者や地域のボランティアの方による見守り活動も行われています。

学校では新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策として、「密接」「密集」「密閉」を避けるなど、安全と学習の両立を目指した取組を進めています。そうした状況のなかでも、「学校って楽しいな」「友達がいてくれてうれしいな」「自分の居場所があって安心できるな」と子どもたちが思えるように教育活動を工夫して行い、期待や意欲を高めながら小学校生活をスタートできるようにしています。

Q

横浜市の小学校では、どのような子どもの育ちを目指していますか？

A

図の一番上にあるのが、育てたい子ども像です。そのために、幼児教育との接続も大切にされています。

横浜の教育が目指す人づくり（「横浜教育ビジョン2030」より）

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

主体的に考え学び続け、多様な人々や社会と関わり合うことを大切にします。
個性や能力を活かしながら、夢や目標にチャレンジし、よりよい社会や新たな価値を創造できる人を育みます。



知識及び技能



思考力、判断力、
表現力等



学びに向かう力、
人間性等



教科等を通じた学び

小学校以降の教育

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、園と学校双方の子どもの成長の様子や手立てなどについての相互理解や協働を目指します。（「幼保小の架け橋プログラム」の実施）



保育者が共有したい子どもの姿・方向性（「よこはま☆保育・教育宣言」より）

「今と未来を生きる子どもを育みます」

安心できる環境をつくり、一人ひとりを大切に保育することや、子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを大切にします。



気づく わかる
やってみようとする



考える
試す 工夫する



よりよい生活を
営もうとする

遊びを通じた総合的な学び

幼児教育（幼稚園・保育園・認定こども園）



乳児期に育まれる信頼感・安心感
生涯にわたる生きる力の基盤



家庭・地域

乳児保育

Q 心配なことがあるときは、どこに相談すればいいですか？

A 「小学校の授業についていけない」「友達関係がうまくいかないのでは」等、就学に関して心配なことがありましたら、まずは保育園・幼稚園・認定こども園等に相談してください。保護者の方と共に考え、必要に応じて関係機関を紹介するなど小学校へつなげるお手伝いをします。また、バリアフリーの状態も含め、お子さんが就学する上で配慮してほしいこと等がありましたら、就学先の小学校にご相談ください。小学校には、児童支援専任教諭が配置され、こうした相談にも対応しています。（横浜市のHPにエレベーターの設置状況を掲載しています。）

Q 読み書きはどのように学んでいきますか？今、しておいた方がよいことはありますか？

A 学校では、読んだり書いたりする楽しさや、伝え合う楽しさを感じられるように学習をしていきます。そして、文字の書き順や鉛筆の持ち方等も学びます。年長から1年生にかけての時期は言葉に対する興味が高まっていく時期ですので、家庭で読み聞かせをしたり、日々のできごとを聞いてあげたりしてください。

Q 食物アレルギー、好き嫌いがある、食べるのが遅い等、給食のことで相談できますか？

A 食物アレルギー対応（除去食など）等、学校に相談したいことがありましたら、就学時健康診断や入学説明会などの際にご相談ください。1年生の始めは、食べる量や時間に個人差が見られますが、個々の食べられる量を考慮し、配膳・食事・後片付け等を含め、慣れるまでは給食の時間も配慮しています。

「ある日のメニュー」
ごはん、牛乳、肉じゃが、
ごまじょうゆあえ、
焼きのり



Q 学校が終わった後（放課後）、子どもたちが過ごせる場について教えてください。

A <横浜市の放課後児童健全育成事業について>



学年を越えた友達と交流することができ
ます。（放課後キッズクラブの様子）

- 全ての市立小学校に「放課後キッズクラブ」（キッズ）があります。キッズは、全ての子どもの「遊び場」としての「わくわく【区分1】」と、仕事などで昼間保護者が家庭にいない子どもたちのために「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた場としての「すくすく【区分2 A・B】」があり、3つの区分から選択して安全に放課後を過ごすことができます。
- 学校外には保護者や地域の方が中心になって運営している「放課後児童クラブ（学童保育）」がある地域もあり、仕事などで昼間保護者が家庭にいない子どもたちが、家庭的な雰囲気の中で自主的に宿題をしたり、本を読んだり、おやつを食べたりして安全に放課後を過ごすことができます。
- 各クラブの連絡先については、区役所こども家庭支援課にお問い合わせいただくか、横浜市または各区のウェブサイトでご確認ください。

Q 入学後の生活などについて、もっと知りたいのですが。

A 入学予定の小学校に直接ご連絡ください。（参考）

幼保小連携

幼稚園・認定こども園・
保育所と小学校の連携・
接続に関すること



各種手続き・相談

エレベーターの設置状況
や入学手続きに関するこ
と



放課後の居場所

放課後の子どもが過ごせ
る場について



よこはま家庭教育支援

「はまっこ子育て」
子どもとの関わりや、相
談先等に関すること



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 幼保小連携担当
横浜市中区本町6丁目50番地の10 TEL 045-671-3731
令和4年10月発行